宇宙空港
立入禁止
はやくこいよ！
みろよ ほら！
あれは月まで いくんだぜ！
重力を 断ち切って 飛ぶぞ！
—ぼくたちは いつも
こんなふうに 夢みた ものだった
ひょっとしたら 自分だって——
あんな人物に なれるかも しれないとか
あんなところへ いけるかも しれないとか……
すごいな！
ああ すごいな！

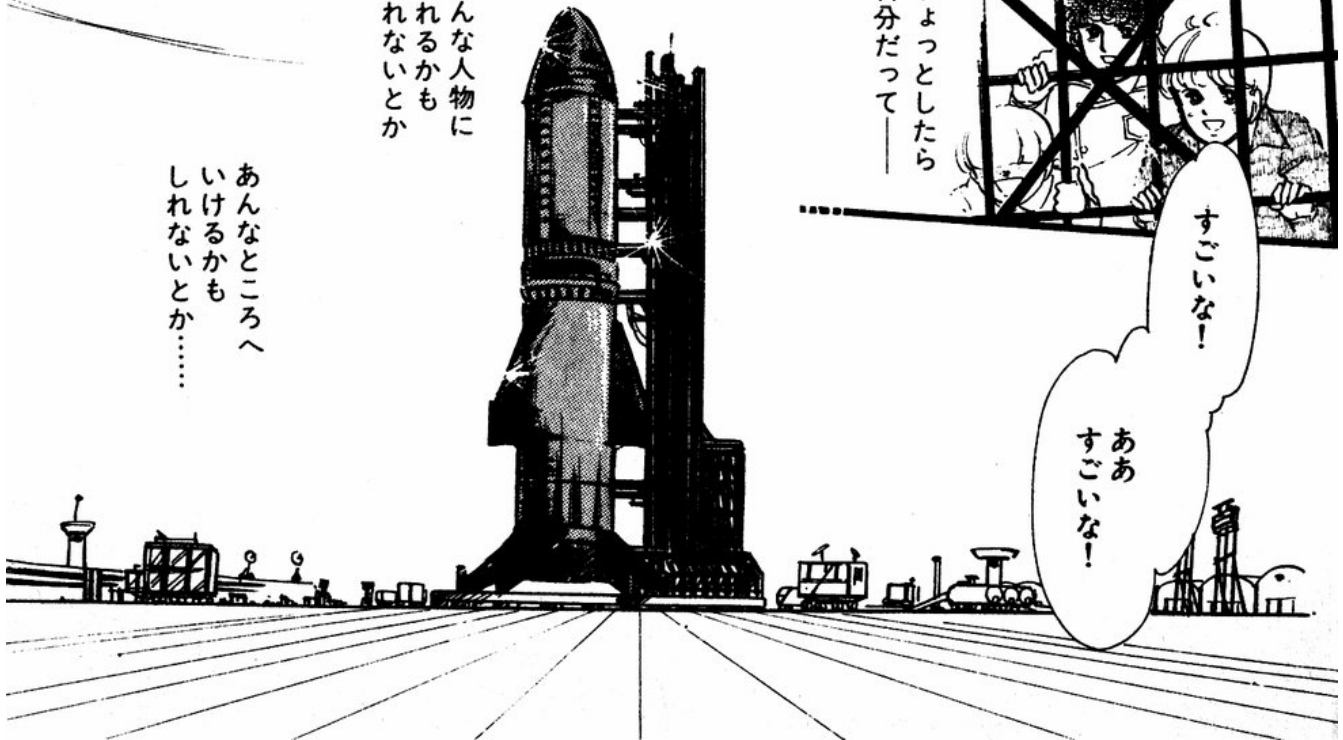
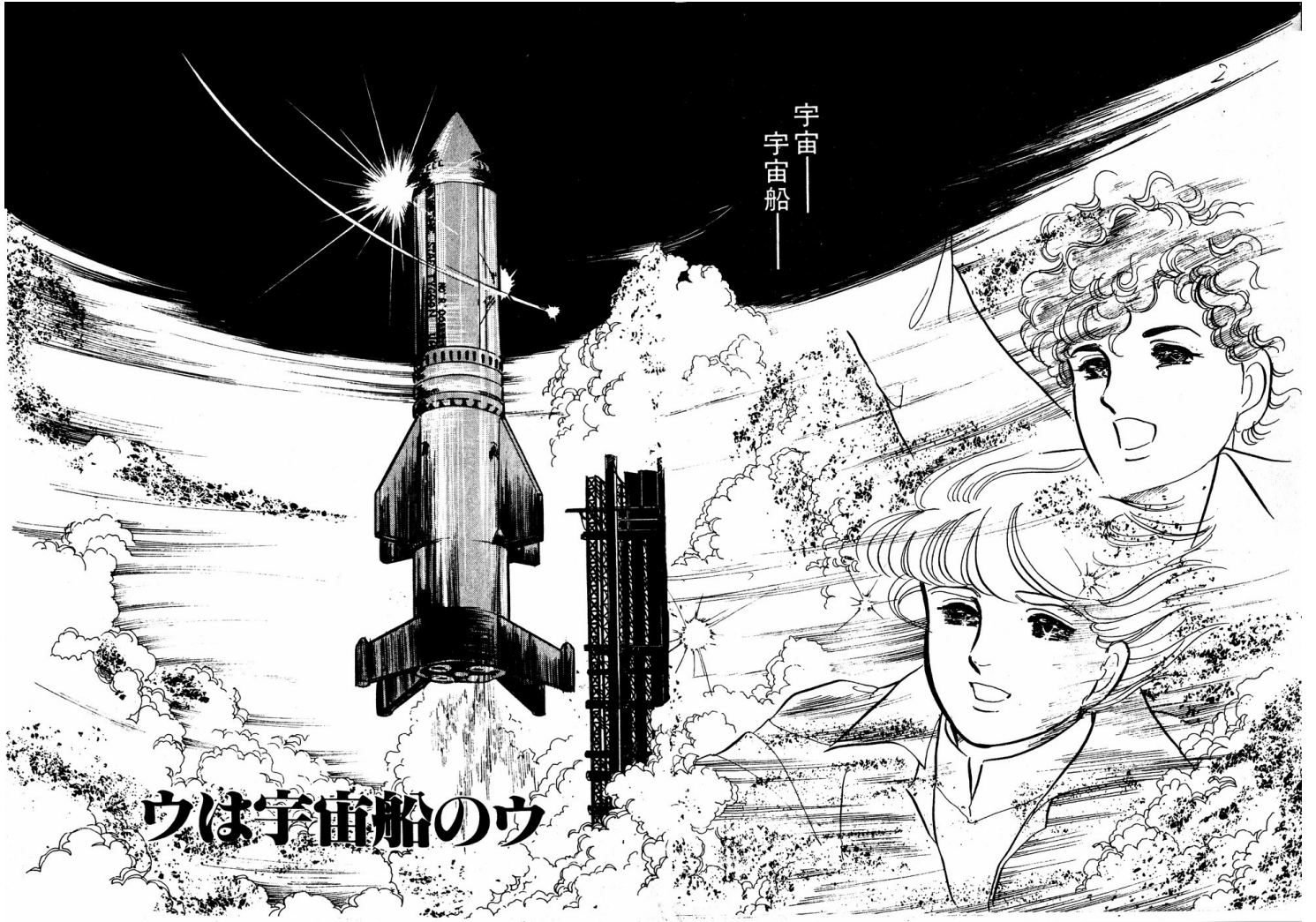
宇宙——
宇宙船——
ウは宇宙船のウ

すごいなア…
ああきょうは特別でっかかったなァ
──ぼくたちは男の子で
男の子だってことが気にいっていて…
宇宙船にのっけてもらえるんなら
なんだってやるのになあ
ぼくだってさクリス

そうだねぼくならモノレール1年分定期ととっかえてもいい
──フロリダのある町に住んでいてその町も好きで──
毎週土曜日の朝はみんなと町はずれの宇宙空港に集まってさわぎ──
さあ帰ってテレビ・ショーを見ようよ
クリス！レイフ！
ん…

学校も好き木のぼりやつりやフットボールをやり
おとうさんやおかあさんが好きだったものだ

そして…

……宇宙船がもっと好きだった

毎週の
土曜日の朝が
まちどおしかった
大陸間
宇宙船や
月までいく
やつ
月よりも
もっと遠くまで
行くやつ……
――宇宙船――
もうとうに
それは
ぼくの中で
特別な夢に
なっていた
ぼくと
友人の
レイクに
とっては
ぼくたちは
それぞれに
星がほしくて
たまらな
かったのだ

むん
先週の意味論のテストも
今週のやつも
きみは
しくじった
いったいぜんたい
どうしたね？
クリストファ！
すみません…
きみはクラスの
首席なのに
これでは
精神教育
委員会に行って
きみの等級を
さげなきゃ
ならなくなる
病院に
行かねば
なりませんか？
ぼく
成績がさがる
いっぽうではね
なんだろうね！
悩みの原因は
多分に
単純で
意識的な
ものだと
思うがね？
意識的だけど…
単純じゃ
ありません
多触手状の
ものです――
つまり――
ウ…
ウチュウセン
です
ウは
宇宙船の
ウだね

おい
先生は きみになんて いったんだい？ クリス
しっかり 勉強しろって 成績が さがったんだ…
あれから 勉強が手に つかなくてさ…
いつ？
先週 特別でかい 宇宙船を 見てから さ…
ああ もし C・M クリストファの ことですが
……
ピシャ
きみは 学校を 追いだされるかも しれない わけかい？
……
わから ない…
先生はたぶん ぼくに 精神分析 療法が 必要だと 思ってるんだ ……
元気だせよ クリス！
学校なんか 爆破しちまえ
そう すりゃ どっかへ 追いやる わけにも いくまいよ

ぼくらは友だちだ それぐらいの こと したって 悪くはないさ！
ドカン
……レイフは
いいやつ なんだ
ほんとに
ぼくんちに よりなよー
シャワーあびて 勉強しよう
レイフ
シュッ
ぼくは 戦いを始めたぜ
きみひとりで？
うん…… これは 個人的な 問題だもの
いったい母親は 「そんなに 食べては だめよ クリス！ 目の方が おなかより 大っきいんだから」って なん回いったと思う？
100万回
200万回さ

べつのことばで いいかえてみなよ ――あんまり 見るんじゃないよ クリス 体にくらべて 心のほうが大き すぎるんだから
ぼくは 心を相手に 戦いを始めた
体が 供給できない ものを 心がほしがるからさ
わかるよ
それならば ぼくも戦ってる
うん そうくると 思った
いつも 土曜の朝
宇宙船を 見に行く 遊び仲間たち ――シッド、マック アール――
彼らは 戦うことは しないんだ 体をかわし うまく逃げて しまう でも ぼくらふたりは そうはいかない…
――ぼくらは 待つんだ

サワサワ…
──クリス　宇宙航空委員会が〝選考〟するんだ
きみは志願できない　待つんだ
……わかっている
そう　きみは待つんだね
月ロケットを見ても冷静でいられるとしになって…
それから1か月すぎるごとに
──ある朝　青い宇宙局のヘリコプターが空から降りてきて……
きみの家の芝生に乗務員がおり　きみの家のドアのベルをおせばと
…望むかぎりはね
USA00

21さいに
なるまで
そのヘリコプターを
じっと待つんだ…
そして―とうとう
20の最後の日には
おおいに
きみは
飲んで
笑って
……
こんちきしょうと
いうんだ
でも
いずれに
せよ
―
本当いうと
きみには
そんなことは
どうでも
よかったのだ
……
ぼくは
こういう失望は
ごめんだな
――ぼくはいま
15だ
きみと同じ
もしぼくが
21になっても
むかえがこな
かったら…
わかってる
わかってるよ
レイフ
まえに
―待ったあげくに
むだだった連中と
話しあったことが
ある
もしも
そんなことが
おこったら――
ぼくらは――
レイフ

気をとりなおして
他の仕事につくさ
酒を飲んで
よそへ行って――
ヨーロッパ回りの
貨物船に
荷物をつみこむ
仕事でも
カタ
ジェインだ！
ハロー
ジェイン！
きみは
息子のくせに
いつも
ジェインと
呼ぶんだね
母親をさ
うん
ただいま
まあレイフ
いらっしゃい
こんにちは
ジェインおばさん
どうしたの？
顔色が悪い
ようだわ？
そう？
べつに―

おまえまた
宿題を手伝って
もらっているのね
今夜は家へ
とまっていく?
レイフ
…ステーションへ
もどらなきゃ
とまれよ
…じゃ先に
ステーションの用事を
すませてくるよ
1時間で
もどるから
レイフ
ブライオリは
両親がいない 彼は
ステーションで
養育されているのだ
片親でもいる
ぼくは
恵まれている
元気な
いい子ね
―でも
あなたたち
なにか
あったのね?
きょう電話が
あったのよ
わたしの
仕事場に
学校の先生からと
それと
もうひとつ…は
…いまは……
いえない……いいたく
ないのよ
それ…電話って
…ぼくのことで?
ジェイン

クリス
おまえはまだ若いのよ
——とってもね
ジェイン
おまえ…おとうさんを知らなかったわね…
知っているよジェインが話してくれたことは
…
……どんな人だったか
地下にある化学研究所で働いていたんでしょう?
おとうさんはずっと深い地下にいらしたのよクリス
だから…星をごらんになったことがなかったのよ
……おかあさん

—あれは霧をかきわける機械のうなりだ
いつもの朝の
レイフ…？

おばさんに
用を
たのまれたので
出かける
学校で会おう
レイフ

用…？
こんな朝はやく？

クリース！
学校に遅れるぞォ
やァ
いまいーくよ

だめよクリス!!

きょうはあの人たちには先に行ってもらいなさい！

ごめん！
先に行っててくれよ…
あとで！

ジェイン……!
レイフはどこへ行ったの?
お使いをたのんだの
けさあの子にこの家にいてほしくなかったのよ
…じつは朝はやくに、電話がまたあって…
電話?
どうして?
きょうは学校へ行ってはいけないの?
──クリス
ブーン
ブーン
まさか!
まさか!
パラパラパラパラ
ヘリコプター……宇宙局の!?
とおりすぎるだけだ──だって──

──だって!
きみがここにいたらいいのに!
レイフ!
C・M クリストファくん
宇宙局のものです
レイフ! どうして? どこに行っちまったんだ!

……最高級で
IQが高い
知覚は第1級
好奇心は超1級
チッチッチッチッ
――はい
宇宙局で8年にわたる教育訓練に必要な熱意がある
そういった先生方との話し合いで――
きみは選抜されたのです
――はい
土曜の5時に宇宙空港まで申告にくるように
なお　必要なものはこちらで供給されます
いいですか
きみは選抜されたことをだれにも話してはいけない
だれにも――？
もちろんおかあさんと先生方は当然知る
なぜというにこれは心理的な保護なのです

地球上の数10億という青年たちの中から
毎年約1万人が選抜されます
1万人のうち3千人ががんばって8年後には飛行士になるのです
あとのものは社会に復帰する
さいしょの6か月できみはためされる
この仕事に合わないとわかれば手を引いて出なおさねばならない
帰って友人たちに世界一の大きな仕事を試みて失敗したと白状するのはつらいことだ
だから知らせるにはおよばないのです
とくにきみの親友にはないしょにしなさい
これはべつの理由からですが
志願者の動機が子供によくある仲間を牛耳るためのつまらぬ見栄からでたものはだめだからです
やむにやまれぬ気持ちからどうしてもと志願した場合はうまくいきます

ぼくにひとり
友だちがいるんです――
レイフ・ブライオリといって
整形外科ステーションに
住んでいます
その子の等級は
むろん
お話できないが
当局のリストには
載っています
係官どの
ステーション育ちは
まずいな――でも
成績を調べて
みましょう
おねがいします!
では
これで
しつれい
しました
おくさん
ブーン
まあ
クリス
クリス!!

すばらしいわ！
うん！
ぼくはやるよ！
きっとやるよ！
——約束するよ
……！
レイフに
どうやって
話そう！
でかけるって
いうだけで
いいのよ
…それだけ
ジェイン…！
あなたは
ひとりぼっちに
なってしまう
レイフがここに
いてくれるわ
わたしに
そういって
ほしかった
んでしょ
…ジェイン！

つまり──
クリスがヨーロッパで教育を受けることになったの
留学は1年──ぐらいかもっと…
出発ははやいの土曜なのよ
彼がもどるまであなたに息子としてこの家にいてほしいのよ
ジェインおばさん
ぼくは感激だ──光栄だ
クリス
ぼくらとてもゆかいで楽しかったね
──レイフは
ヨーロッパのどことかこまかいことはまったく聞かなかった
──そうさレイフ
ぼくらはとてもゆかいだった
そしていつでもひとりで戦いを始めなければならないんだ

ねえクリス
荷づくりは
すんだのかい？
たいして
いらないいんだ
クリス
電話よ
先生！
元気でな
きみは
世界一の仕事につく
いずれ　きみは
世界のものに
なるのだ
がんばれよクリス
きょうが
最後…
クリス
あすは5時に
宇宙局だ
ジェインや
レイフとすごす夜も
これっきりなんだ
これきり

まだ起きて いるかい…?
うん
考えごと?
うん…
きみはもう 待たなくても いいんだね?
ねむいんだ…
……ぼくは きっと そうだと 思った
ポシー!

あれは
天気調節装置のうなり
霧を追い払っている
いつもの朝だ……
土曜日の
土曜日だよ！クリス！
宇宙船見にいこうよ！
はーやーく
あの連中にきみはきょうはいかないっていってやろうか？
そんなことはなんにもいわないことよ
でかけるのいつもの土曜のように
きょうはずっとあなたといっしょにすごそうと計画していたんだジェイン
まあそんなことをしたらどうなるかしら
さあさっさと食べて！
行ってらっしゃい！

はーやく
クリス！
モノレールがでるぞ！
きょうは…やめようよ
行くの
へえっ
クリスが行くのやだって
なんでだよ
行くだろ！
うそだあ！
クリスは行かないよ
ぼくも行きたくない
毎週行ってるから
あきあきしてるんだ
でも来週なら
行ってもいいや
ねクリス
ん…
じゃ来週さ
ぜったいだよ
？
きみらが行かなけりゃ
おもしろくないや
じゃきょうは
どうする？
きょうは…
ガンけり
木のぼり
裸で水あそび
忘れていた
いろんな遊びを
やろう
——きょうかぎり

きょう
かぎり──
もう
帰るの?
クリス
まだ4時
だよ
うん
じゃ
今夜は
どうする?
8時に
呼びにきて
くれよ
新しい
映画見に
いこう!
オー・ケー!
クァ
ただいま
あれ
おばさんは?
どこへ行ったんだ
ろう　きみが
出発するのに
いいんだ
いないような
気がして
いたんだ
…ビデオカセットの
手紙が置いて
あった
クリスへ
カチリ

ピーーン
…わたし
わかれが
つらいのよ
クリス
…研究所に
仕事で
行ってます
元気でね
なによりも
いとしいと
思っているわ
こんど会うときは
もうおとなね…
ツー
わたしわかれが
つらいのよ
クリス
行ってきます……
元気でね
いとしい…
わたし
わかれが……

きょうは おもしろかったね クリス！
ああ
来週の土曜に また会おうな？
……
うんといえ こいつ！ いつもどおりさ
うん！ うん！
…おかあさんを たのむよ… ぼくらの…
もちろんさ
ぼくは待つよ
これから 待つつもりだよ クリス
きっとすぐだよ レイフ
ポン
トン
ピシャ

ステーション
宇宙空港前
あれはもう
あこがれでも
夢でもない
……
ぼくがそれの
一員になるんだ
C・M
クリストファ!?
は…はい!
さようであります!
申告にきました
こちらへ
クリストファ
カチャ

門をとおって
塀の向こうへ――
……いつも
あんな人物に
なれるかも
しれないとか
あんなとこへ
行けるかも
しれないとか
ぼくたちは
男の子だって
ことが
気にいって
たし
町が
気にいっていたし
――さようなら
またいつか――
ぼくはきっと
帰ってきます――
フットボールも
学校も好きで
友だちも
おとうさんや
おかあさんや
そして　月や火星や…!
おかあさん
レイフ――